

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 平成28年2月」

平成28年2月16日（火）午後2時30分豊明市教育委員会2月定例会は、豊明市役所東館3階教育委員会室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委員 長	：	久留島 夕紀	委員長職務代理者	：	青山 佳代
委員	：	兼子 幸夫	委員	：	山下 徳治
教育 長	：	市野 光信			

2 不応召委員は、次のとおりである。

なし

3 出席委員は、次のとおりである。

委員 長	：	久留島 夕紀	委員長職務代理者	：	青山 佳代
委員	：	兼子 幸夫	委員	：	山下 徳治
教育 長	：	市野 光信			

4 欠席委員は次のとおりである

なし

5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教育部 長	：	加藤 賢司	指導室 長	：	下出 修史
学校教育課 長	：	堀井 浩二	生涯学習課 長	：	樋口 進
図書館 長	：	浅田 利一	図書館次 長	：	服部 英俊
学校教育課長補佐	：	濱島 英生	生涯学習課長補佐	：	塚本 由佳

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（担当係長）後藤 明紀、事務局（主事）近藤 菜保

本会事件は、次のとおりである。

議案

- (1) 平成28年豊明市議会定例会3月定例会提出議案について
- (2) 豊明市大学等入学支援金貸付条例（案）等について
- (3) 豊明市立野外教育センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例（案）について
- (4) 豊明市教育長の営利企業等従事の許可に関する規則（案）について
- (5) 平成28年度教職員の人事の内申について
- (6) 平成28年度学校医等の委嘱について
- (7) 平成28年度始春季休業日について

報告

- (1) 教育委員会要綱等の制定及び一部改正について
- (2) 平成28年豊明市成人式開催状況について

(3) 豊明市スポーツ賞表彰式について

(4) 教育委員会後援申請について

その他

(1) 平成27年度小中学校卒業式について

学校教育課長 本日の定例教育委員会に3名の方から傍聴の申し出があり、「豊明市教育委員会傍聴規則第2条」により、傍聴人の氏名・住所の届出がありましたのでご報告いたします。

委員長 委員の皆さんにお諮りいたします。報告がありましたとおり、傍聴人の入室を許可してよろしいですか。

委員 (承諾)

委員長 それでは、傍聴人の入室を許可いたします。

・・・傍聴人入室・・・

委員長 傍聴人に申し上げます。豊明市教育委員会傍聴規則の各条項を十分遵守して傍聴してください。

開会宣言 午後2時30分、2月定例教育委員会の開催を宣言。

委員長 先月1月13日に、平成27年度市町村教育委員研究協議会で東京会場である、文部科学省へ行ってきました。初等中等教育改革に係る今後の方向性ということで、行政説明と講話があり、その後会をまたいで分科会場で事前に希望したテーマに分かれて6つのグループで研究協議が行われました。北は青森、南は沖縄まで約160名が参加しました。14日は愛日地方事務協議会で長久手市役所へ教育長と出かけました。15日、16日は、三重県熊野市立木本中学校に研究授業に行っていました。学習院大学教授の佐藤学先生指導の木本中学校で、朝の全学級公開から午後の研究協議まで参加をしてきました。ある生徒は不登校で学校に1年近く来ていなかったのですが、なぜかスーパーバイザー訪問日には登校しているということを事前に校長先生から伺って、そのクラスに行くと社会科の授業だったのですが、当てられて元気に答えているその生徒の姿を目の当たりにしました。児童生徒や教職員の先生方が前例にとらわれずに自分がいと思うことを積極的に挑戦する環境が整って初めて、学校が共に学び、成長する場として機能するのではないかと私は思っております。木本中学校ではそれが感じられ、大変古い校舎ではあったのですが、気持ちの良い学校だと感じました。22日は、児童生徒登校時、さわやかDAYに参加しました。2月11日は、文化会館にて開催された、第27回豊明市スポーツ賞表彰式に参加しました。スポーツ賞、体育協会賞、レクリエーション協会賞で団体の方も含み208名の方がその功績を称えられました。私からは以上です。次に教育長報告をお願いいたします。

教育長 先日の2月臨時教育委員会の後、インフルエンザによる学級閉鎖が相次いでおり、これま

で市内の35学級で学級閉鎖がありました。現在すでに学級閉鎖、あるいは明日から学級閉鎖という学級は全部で10学級あります。今期のインフルエンザはA型とB型が並行して流行しているのが特徴です。1月16日は、久留島委員長、小崎指導主事、新井校長先生、弓巾先生と熊野市立木本中学校の土曜の公開授業、提案授業、授業協議会、スーパーバイザー佐藤学先生の講評と講演に参加しました。長島りょうがん校長先生と同中学校の教職員の皆様には大変お世話になりました。授業の前に長島校長先生から学校紹介ということで、全校生徒は147名で、比較的厳しい家庭環境の子どもが多いということ、ただし、教職員全員が「子どもたちを一人にさせない」という思いのベクトルを合わせて活動をしているということ、公開授業が楽しいからと言って来てくれた子がいて大変嬉しいという話がありました。提案授業の中で、担当の方が何でも挑戦したいという女性の尾崎先生という方の1年生の数学の授業だったのですが、授業の中で先生が意図的に子どもたちの話を聞いて、子どもたちを繋いで、子どもたちが互いに支え合って学んでいる姿、あるいは、授業に夢中になる子どもたちの姿、少し理解が遅れてしまった子が先生の支援を受けて理解ができ、素敵な笑顔に変わった瞬間などを見ることができました。総じて、長島校長と教職員によって、子どもたちが非常に大切にされていると感じました。もう1点、明日2月17日は、豊明中学校は佐藤雅彰先生、沓掛中学校は副島孝先生をスーパーバイザーとしてお招きし、公開授業、授業協議等を行います。豊明中学校に、5限目からみよし市の今瀬教育長と指導主事の先生2名が視察にいらっしゃいます。スケジュールは事前にご皆さんにお伝えしたとおりですので、是非とも授業、協議、スーパーバイザーの講演をご覧いただきたいと思います。なお、参加される方は、本委員会後に訪問校と時間をお知らせください。以上です。

委員長 ありがとうございます。ただいまの委員長報告、教育長報告について、ご意見ご質問等はございますか。

委員 木本中学校で、いつもは登校しない生徒が公開授業のときに楽しいから登校したということについて、推察される理由はあるのでしょうか。

委員長 私も伺ってみたのですが、校長先生は、多分自分の存在が認められて見てもらえるからではないかとおっしゃっていました。社会科の沖縄の問題を取り上げた授業で当てられたときに、すぐさま躊躇することなく基地の問題など詳しいことを答えて自分なりの意見や考えを述べていましたので、決して学びたくないというのではなく、何か家庭的な問題なども抱えているのかもしれませんが学ぶ意欲は感じられました。

議事の経過

委員長 それでは議事に入ります。議案(1)「平成28年度豊明市議会定例会3月定例会提出議案について」ご説明をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長、図書館長 (資料第1号に沿って説明を行う。)

委員 平成28年度当初予算一般会計歳出予算の年度対比の教育費で、平成27年度の予算が2,356,127,000円とありますが、現時点で平成27年度の期末執行見込み額はどのくらい分かるのでしょうか。

学校教育課長 大変申し訳ありませんが、各課で管理しているので、部単位ではすぐにはお答えすることができません。

教育部長 平成28年度と比較しますと金額が2億2千万円くらい増えているのですが、その理由は、平成27年度の当初予算は骨格予算ということで工事費などの大きいものが含まれておらず、

それについては6月補正で計上しております。この表は当初予算ベースの比較となりますので、その大きな金額を差し引きするとほぼ同額になると思います。平成28年度は大幅に増えたということではありません。

委員 補正予算についてですが、各事業が平成27年度に予算として立てた金額が執行額としてはかなり経済的に済んだという結果になるわけですね。

教育部長 補正予算については、主に工事や委託の金額の大きいものの入札で落ちた額が不用額として残りますので、その分補正減をしています。このように補正減したものを計上して積み上げると6千万から7千万円はあると思います。財政課としては、これを財政調整基金や公共施設の整備基金に積み増しをして次年度以降に使うということで、各課に不用額を減らすよう指導しています。

委員 豊根の予算の今年度の配分は、当初予算のどのあたりに表れているのか教えていただきたいです。

学校教育課長 委員が言われるのは、10年間で各年間2,000万円くらいというお話のことだと思います。まず1つ目は「スクールソーシャルワーカー事業」の約864万円、2つ目は「学び応援奨学金（給付型）」の150万円、3つ目は「ふるさと応援奨学金（貸付型）」の450万円、4つ目はプラスエデュケートの「定住外国人日本語教育推進プレクラス・プレスクール事業委託料」が296万円増額しております。この増額は、今まで3か月だった期間を倍の6か月にし、より日本語の理解を深めるためのものです。5つ目は「協同の学び推進事業委託料」で、新しく5校を合わせた7校で約130万円です。6つ目は豊根村での「イングリッシュキャンプ事業委託料」で子どもは約10名で、約30万円です。7つ目は「どよう塾」の約57万円で、合わせて19,792,280円となる予定です。

委員 その関連でお伺いしたいのですが、協同の学び推進事業は、具体的にはどのようなことから進めていくのか教えていただけますか。

指導室長 今回5校を増やして7校になり、その関係でお招きする講師の先生も3人を予定しております。年間でそれぞれの先生には2、3回学校に来ていただきご指導いただきます。横浜市、富士市、小牧市から来ていただき、その交通費や講習費、各学校で書籍等が必要な場合は購入していくということを考えています。

委員 講師料が多くを占めるということですね。

指導室長 そうです。

委員 もう一つ、どよう塾の途中経過についてお聞きしたいのですが、前回の教育委員会から何回か開催されたのでしょうか。

指導室長 前回の委員会の後も子どもたちは元気よく通って来ておりました。ただし、2月第2土曜日はインフルエンザが流行っていたので、その日は中止にしました。今回は2月第4土曜日になり、これまでに全3回行っていますが、子どもたちは毎回きちんと出席しておりますし、学ぶ態度も大変熱心ですので、やっつけてこちらやりがいがあると感じております。また、平成28年度も続けるならば、子どもたちも熱心な態度で学んでいくのであろうと私は思います。

委員 新しい試みで順調なスタートだと思うのですが、この間のお話ですと、こちらが本当にタ

ーゲットとしている生徒の参加率を上げていくことが課題だと思いますので、それを含めて教育委員会はもちろん、何か手立てを考えなければいけないと思います。

指導室長 今委員が言われたとおりでして、今回どよう塾に参加している子たちはどちらかという
と中の上くらいのレベルの子で、積極的に私たちの用意した参考書を借りて家でやってきたい
というような意欲を持っている子が多いのでやりやすいのですが、当初のねらいとしていた基礎的
な学力を高めるという視点に立って、本当に私たちが手を差し伸べたいと思っているような子た
ちが参加していないのも事実なので、今後4月以降始めるにあたって、学校からの声かけも考え
ながらやっていく必要があると感じております。

委員長 先月私が文部科学省へ出向いたときに、6グループの分科会に分かれたときに選択したテ
ーマが土曜学習についてでした。やはり他県も土曜学習に力を入れており、豊明市の場合は塾に
行っていないということを条件として意欲的に募集をしています。他市町では、リタイアされた
企業の方が講師として自分の経験を活かしてやっていらっしゃるということもありました。また、
取り組んでいないところも多く、豊明市は昨年からはじめたのでまだスタートしたばかりですが、
是非話を聞かせてほしいということで、どのようなことをやっているかとか、発生する金額につ
いて聞かれました。私もホームページで熱心に取り組む姿を拝見しておりましたが、皆さんも関
心を持っていらっしゃると思います。まずスタート地点ですので、そこから次につながっていく
のではないかと思います。他にご意見ご質問等はございますか。(なし) それでは、ただいまの議
案(1)「平成28年豊明市議会定例会3月定例会月議会提出議案について」承認される方は挙手
をお願いします。(全員挙手) それでは、承認いたします。続きまして、議案(2)「豊明市大学
等入学支援金貸付条例(案)等について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 (資料第2号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委 員 この奨学金はいつ頃募集をするというのは決まっているのでしょうか。

学校教育課長 この条例を制定すると規則も制定します。規則では、7月1日から7月31日まで
に申請を受付しまして、8月の中旬から中旬にかけて書類審査、下旬には奨学生の決定、9月か
ら決定通知を送付しまして、9月から3月末に支払いをする予定であります。4月に入ってから
は、決定した奨学生の在学証明書を提出していただくというスケジュールになっております。

委員長 他にご質問等ございますか。

委 員 この奨学金の対象は貸付型と給付型を合わせて20名ということですが、成績で選考する
のでしょうか。

学校教育課長 成績と、家庭の状況で高額所得でない方という条件があります。

委員長 他にいかがでしょうか。

委 員 確か、昨年に教育委員会で話が出たと思うのですが、そのときの制度と大きく変わった点
を教えてくださいませんか。

教育部長 昨年度の「大学等入学支援金」との変更点ですが、一番大きな変更点は、インターンシ
ップをしていただくというのがあったのですが、就業体験は別物であるという意見もあり、それ

を外した点です。今回の2つの奨学金ですが、貸付型は国から各市町村に対して事業を実施するようというので、各市町で人口が減りますので、定住促進をテーマとした事業であれば、国から2分の1の交付金がいただけます。給付金と合わせて対象者20名で提案するのですが、貸付型については、豊明市の人口を増やすというところに着眼点がある奨学金になりますので、募集の時点で豊明市に住んでいる方で、卒業後も豊明市に住むという希望の方に申し込んでいただきます。その場合、返済は必要ないので、合わせると対象者は昨年度の12名から20名に増えます。これは、国の事業になりますので、財源的にも歳入が増えるということと、豊明市に住んでいただくと住民税も納付いただけるということで、メリットもある奨学金であると思います。

委員 国から出されるのは半額ということですが、それは返済不用なのでしょうか。

教育部長 国から交付金が出された場合、ずっと豊明市に住んでいただくと返済不用ですが、市外へ転出されると返済しなければならなくなります。国からお金をもらったにもかかわらず、本人からもお金が返ってくるので、精算する必要が出てきます。これから申請の内容等は協議しながら進めていきたいと思っております。

委員 豊明市が就職の機会を与えるようなものがあれば別ですが、大学を卒業して豊明市に住むというのは、現実にはなかなか難しい問題ではないかと思えます。そこまで充実したプランであれば定住していただくのも可能かと思えます。

委員 返済しなくてもよいという恩恵を受けられるけれども、束縛されるということで、申請するには迷いが生じると思えますが、選択肢として市がこのような制度を設けることは良いことだと思います。

委員 条例にある貸付資格についての質問で、高等学校卒業程度認定試験の合格者とあるのですが、年齢制限はあるのですか。

教育部長 年齢要件はありません。高等学校卒業程度認定試験に合格した方であれば、該当すると判断します。

委員長 他にご質問等はございますか。(なし) それでは、ただいまの議案(2)「豊明市大学等入学支援金貸付条例(案)等について」承認される方は挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。続きまして、議案(3)「豊明市立野外教育センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例(案)について」ご説明をお願いいたします。

生涯学習課長 (資料第3号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委員 今は美浜の代替施設でやっているということですが、野外教育としての意味について以前教育委員会でも話題が出たのですが、そのときには美浜に固定するのではなくて、豊根でなければ豊根に近い環境の施設を探して並行していこうということになっていたと思うのですが、それについての進捗状況を教えていただきたいと思えます。

指導室長 中学校に関して、豊根に近いところとして平成29年度は旭高原を予約する方向で動き始めています。人数が多い学校はそこに収まりきらなくなることもありますので、別の場所も探していかなければならないと思っております。今後についてはまだ議論しているところです。

委員 やはり子どもたちの思い出に残り、普段と離れた環境の中で生活させてあげたいということもありますので、引き続きよろしくをお願いします。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。(なし) それでは、ただいまの議案(3)「豊明市立野外教育センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例(案)について」承認される方は挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。続きまして、議案(4)「豊明市教育長の営利企業等従事の許可に関する規則(案)について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 (資料第4号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委員 教育長が常勤の特別職になり、副業ができるということですか。

学校教育課長 届出をすると、今までは市長が許可をしていましたが、新しい制度になると教育委員会が許可することになるということです。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。(なし) それでは、ただいまの議案(4)「豊明市教育長の営利企業等従事の許可に関する規則(案)について」承認される方は挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。続きまして、議案(6)「平成28年度学校医等の委嘱について」ご説明をお願いいたします。(議案(5)「平成28年度教職員の人事の内申について」は、3月の臨時教育委員会の議案とする。)

学校教育課長 (資料第6号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。(なし) では、ただいまの議案(6)「平成28年度学校医等の委嘱について」承認される方は、挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。続きまして、議案(7)「平成28年度始春季休業日について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 (資料第7号に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまの議案(7)「平成28年度始春季休業日について」承認される方は、挙手をお願いします。(全員挙手) それでは、承認といたします。続きまして、報告に移ります。報告(1)「教育委員会要綱等の制定及び一部改正について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長、図書館長、生涯学習課長 (資料第8号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますでしょうか。

委員 とよあけ市民大学について、希望者が0で潰れてしまうとか、逆に定員オーバーするというような報告は最近受けていなかったように思うのですが、状況が分かれば教えていただきたいと思えます。

生涯学習課長 細かい内容はすぐには出ないのですが、当然やれないものについては淘汰していくことになりまして、人気のあるものについては2つの講座にしていくという努力はしております。なるべく受け入れはしますが、やはり経営的な視点もかなり取り入れて進めているというのが現状です。

委員 補助金の交付が3年では短いので、その点も踏まえてある程度見通しが立ったため、補助金交付の期限を削ったということですか。

生涯学習課長 そのとおりです。自己運営でやってはいけるのですが、やはり補助金があるからという部分がまだ少し残っているので、補助金を期待しなくてもよいという状況になるまでですが、目途がある程度立ってきたと捉えていただければと思います。

委員長 他にご質問はございますか。

委員 「豊明市立図書館資料収集要綱」の郷土資料の内容についてですが、図書館の資料収集の一環として、収納保管していくということが謳われているように思うのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。

図書館長 そうです。今言われた考え方で、文書の資料を集めるということで、制定させていただきました。

委員長 他に質問等はございますか。(なし)では、続きまして、報告(2)「平成28年豊明市成人式開催状況について」お願いいたします。

生涯学習課長 (資料第9号に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明について、ご質問等はございますか。

委員 遠方の方が帰りやすいということで日曜日の開催に変更した記憶があるのですが、その後の出席者の推移はいかがでしょうか。

生涯学習課長 豊明市は日曜日に開催するということが定着しておりますので、高い意識を持って来ていただいていると思います。

委員長 他にご質問等ございますか。

委員 今年はご家族の出席者数がかかなり増えていますが、小ホールに入れることを平成28年は案内文に載せていたのでしょうか。

生涯学習課長 以前から記載していたのですが、中に入れることが周知されてきたのではないかと思います。

委員長 案内に載っていても実際には知らなかった方も多いと思います。送ってみえた保護者の方がそのまま残られたり、だんだん中で見られることが伝わり、それが積み重なってきたのだと思います。他に質問等がありますか。(なし)続きまして、報告(3)「豊明市スポーツ賞表彰式について」ご説明をお願いします。

生涯学習課長 (資料第10号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明について、ご質問はございますか。(なし)続きまして、報告(4)「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第 1 1 号に沿って説明を行う。）

委員長 ただいまのご説明についてご質問等がございますか。（なし）では報告は以上となります。
続きまして、その他（1）「平成 2 7 年度小中学校卒業式について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （その他資料①に沿って説明を行う。）

委員長 では、次回の教育委員会の日程についてお願いします。

学校教育課長 （3月4日（金）午前 1 1 時 0 0 分から中学校卒業式終了後に 3 月臨時教育委員会を開催（人事案件のみのため非公開）、3月15日（火）午後 2 時 3 0 分から 3 月定例教育委員会を開催、4月15日（金）午後 2 時 3 0 分から 4 月定例教育委員会を開催する旨提出。）

委員長 他にございますか。（なし）

委員長 閉会宣言 午後 3 時 5 5 分、2 月定例教育委員会の閉会を宣言。